

北米エスニシティ研究会 主催

日系女性シンポジウム 2

日系女性の遺産 2

——日系二世・三世女性のアメリカ市民社会への貢献と社会的ネットワーク——

2009年11月29日(日)
2009年11月29日(日)

午前 10 時 30 分 シンポジウム開始

パネル

Valerie Matsumoto (Professor, UCLA)

Rosalyn Tonai (Executive Director, National

Japanese American Historical Society, Inc.)

Lynne Horiuchi (Visiting Scholar, UC Berkeley)

レスポンス 守屋友江 (阪南大学教授)

山口知子 (関西学院大学非常勤)

西川裕子 (岐阜大学非常勤)

ディスカッサント 黒木雅子 (京都学園大学教授)

司会

山本恵里子 (移民史研究者 [元相山女学園大学教授])

会場 関西学院大学 梅田キャンパス (裏面参照)

参加費 無料

ただし、懇親会に参加されるかたは、裏面を参照の上お振り込みをお願いします。

(お問い合わせ先) email: hokubeiethnicity@gmail.com 高木 (北山) 眞理子 (愛知学院大学)

田中きく代 (関西学院大学)

日系女性の遺産 2

—日系二世・三世女性のアメリカ市民社会への貢献と社会的ネットワーク—

趣旨:

日系移民史において、女性の日系社会への貢献については、研究が蓄積されつつある。本シンポジウムは、北米エスニシティ研究会と全米日系人歴史協会との協力によって、2008年にサンフランシスコで開催された「日系女性の遺産」シンポジウムの第2章となっている。主に一世女性に注目したシンポジウム第1章に続き、今回は、二世・三世女性がアメリカの市民社会においてどのような役割を果たし、どのようなネットワークを形成していたのかに注目する。アメリカから、日系史・女性研究のマツモト氏、コミュニティ組織で日系文化の保存・継承に尽力してきたトナイ氏、建築、美学の視点から日系史をみるホリウチ氏を招き、日本側の日系移民研究者との知的交流につなげたい。多くのかたにご参加いただけたら幸いである。

11月29日(日) 10:00 受付開始

■シンポジウム(参加費無料)

- 10:30~12:00 Moderator: Yamamoto Eriko
Discussant: Kuroki Masako

Valerie Matsumoto “Developing Second-Generation Voices:
Women in the Pre-War Nisei Writers Group”

Rosalyn Tonai “Strength & Diversity: the Japanese American
Women’s Story through Exhibition”

Lynne Horiuchi “Trekking through Theoretical Frameworks and Mine Okubo’s Art Work”

- 13:15~14:00 Respondents
Moriya Tomoe “Japanese Americans and Religion”
Yamaguchi Tomoko “Japanese Americans and Literature”
Nishikawa Yuko “Japanese Americans and Citizenship”

- 14:00~15:00 Discussion

シンポジウム会場 関西学院大学 梅田キャンパス

〒530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町 19-19 アプローチタワー14階

TEL: 06-6485-5611(大阪梅田キャンパス事務室)

URL: http://www.kwansei.ac.jp/kg_hub/

阪急梅田駅 茶屋町口改札口より 北へ徒歩5分。

アプローチタワーのエレベーターは、ハブスクエアの開館時間以外は 14階に止まりません。ご注意ください。

■懇親会(参加費 5,000円)

- 18:00~20:00 Reception

メルパルク大阪 〒532-0003 大阪市淀川区宮原 4-2-1

TEL:06-6350-2111(代) FAX:06-6350-2117

※懇親会に参加ご希望の方は、お手数ですが **11月6日までに**振り込み用紙で下記へお振り込み下さい

ゆうちょ銀行 口座番号 00830-5-149349 北米エスニシティ研究会

